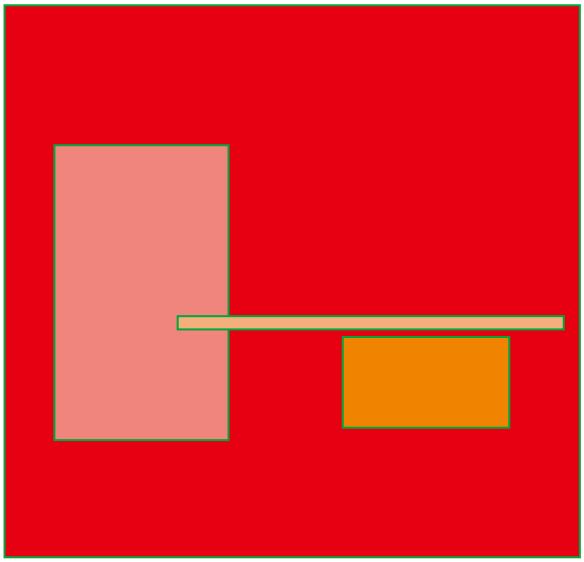
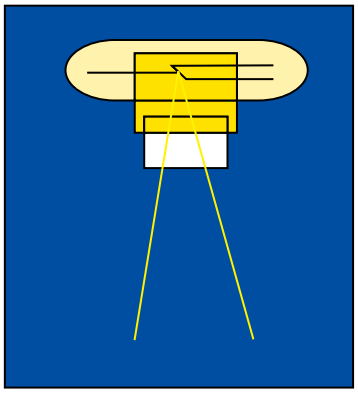
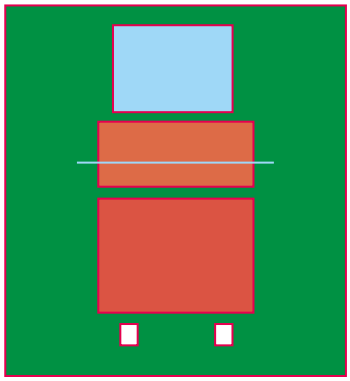
三重県放射線技師会誌

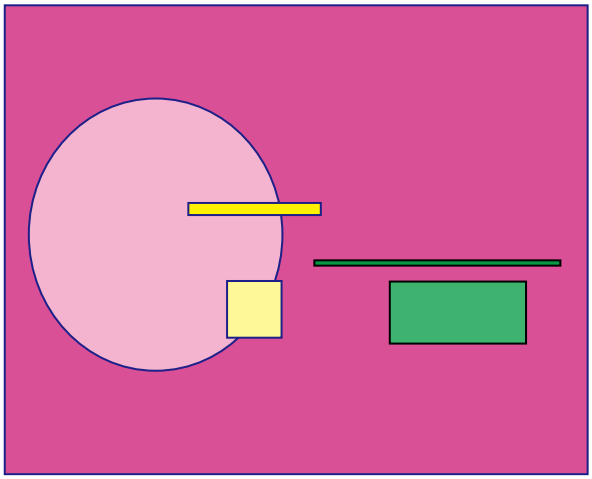
The journal of the Mie
Association of Radiological Technologists

web版









292号 2021.2 vol.71 No.2

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人　日本診療放射線技師会

綱　　要

1．わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those to need of health care.

1．わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team

1．わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.

1．わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.

1．わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

292号
Vol.71 No.2

CONTNETS

□ 巻頭言 4

□ 議事録 5

第70回 定期総会議事録
令和2年度 第2回理事会議事録
令和2年度 第3回理事会議事録
令和2年度 第4回理事会(メール)議事録
令和2年度 第5回理事会議事録
令和2年度 第6回理事会議事録

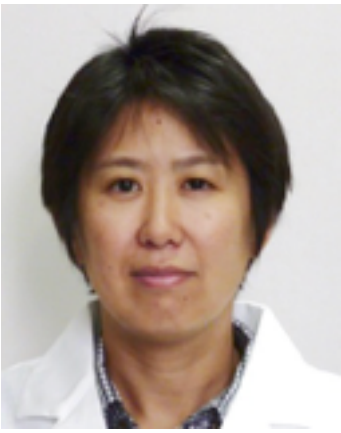
□ 編集後記 20

一般社団法人　**三重県診療放射線技師会**

〒514-0032　津市中央2-4　三重ビル 502号
TEL/FAX (059)225-1491
H.P. : https://mieart.jp/
e-mail : contact@mieart.jp

郵便振替　00800-5-15152
銀　　行　百五銀行津駅前支店
普通預金口座番号　0203779

□　巻頭言



「希望の作り方」

武藤　結衣
一般社団法人三重県診療放射線技師会　副会長

三重県診療放射線技師会会員の皆様、いつもありがとうございます。昨年は新型コロナウイルスに翻弄された一年でした。世界は一変しました。感染拡大によりマスクの常時着用、会食や旅行の自粛、テレワークやオンライン授業の導入など、それまでの私たちの日常が変わりました。本会会員の皆様におかれましては、感染拡大が続く中、休みを返上し多忙な日々を過ごしておられる会員の皆様が多いことと思います。感染収束の日が一時も早く訪れるように願いつつ、多忙な会員の皆様の感染防止に配慮しながら、皆様の勉強や意見交換の場を提供できるよう、オンライン・オフラインを駆使し、界外会長や役員の皆様とともに会務に一層励んでまいります。

さて、今年の巻頭言にあたり皆様に「希望学」について少しだけご紹介したいと考えます。希望学は、東京大学の玄田教授が2005年頃より研究されている、心理学だけでなく社会学や政治学経済学などとの学際的な学問領域です。そこでは、当初、希望とは「行動によって何かを実現しようとする気持ち」(Hope is a Wish for Something to Come True by Action)と定義されていました。が、その後、「他の人とともに」という言葉が加わりました。

実現したい何かを見つけ、準備し行動することが希望を作ります。しかし、自分一人では達成できるとは限らないことも少なくありません。先がなかなか見えない現在ではありますが、あるべき未来の姿、こうなってほしいというビジョンを持ち、他の人と一緒になってそれを現実にするための行動を継続すること、それが希望を作ることなのだろうと考えます。

また、過去に、希望の保有状況を調べた希望学の全国調査からは、「自分を信頼してくれる友人をたくさん持つという人ほど、将来に実現見通しのある希望を持ちやすくなっていた。」また、「子どもの頃から家族の期待や信頼を感じつつ成長してきた個人ほど、現在も希望を持つことが多い。」ということが明らかになっています。

新しい生活様式をうまく使い、変化を楽しむ気持ちを持ち、参加しやすく会員の皆様にとって有益な技師会を作っていければと考えます。

皆様、今後ともよろしくお願いいたします。

□　議事録

第70回 定期総会議事録

1　招集年月日　　令和2年4月22日

2　開催日時及び場所

（1）開催日時　　令和2年5月24日(日)　13時05分から14時00分まで

（2）開催場所　　Web ZOOM

3　会員総数　　559名

4　参加会員数　　393名　　内訳　本人出席　24名　　委任状出席　369名

5　総会に出席した役員等の氏名

（1）出席理事　　界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、石河 真人、森田 英稔、丹羽 正厳、白藤 裕敏、岡田 和正、山本 房嗣、刀根 淳也、三好 佳仁、姫子松 博洋、伊藤 守弘、難波 一能、後藤 末成、磯部 好孝

（2）出席監事　　中西 左登志、牧 浩昭

6　総会の議長の氏名　界外 忠之

7　議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名　森田 英稔

8　開会の辞

13時05分、山田副会長が、第70回一般社団法人三重県診療放射線技師会定期総会の開会を宣言した。

9　会長挨拶

界外会長の挨拶があった。

10　表彰受賞者紹介

武藤副会長から勤続50年表彰受賞者 該当者なし及び勤続30年表彰受賞者 落合 三奈恵氏、西田 康一氏、森下 佳次氏、森田 不二夫氏、藤川 久元氏、刀根 淳也氏、島田 教良氏、石田 進氏、上之郷 正実氏、園田 伸一氏、清水 重典氏、以上11名の紹介があった。

11　議長選出

議長の選出を諮ったところ立候補者がいなかった為、Web 総会特例により界外会長が選出された。

12　議長登壇

続いて議長より挨拶の後、

13　資格審査

会員総数559名、出席会員数392名（内訳）本人参加23名、委任状369名、

13時00分現在の委任状を含む出席者数が392名であり、定款第17条により本総会の成立を宣言した。

続いて、議事録署名2名に、森田業務理事及び磯部理事を指名し、議案の審議に入った。

14　議事の報告結果及び議案別決議の経過

【報告事項】

報告 1 号 令和元年度事業経過・庶務・監査報告について
界外会長より令和元年度事業経過報告書の内容につき報告があった。
森田業務理事より令和元年度庶務報告書の内容につき報告があった。
中西監事より外部監事による監査報告書並びに令和元年度監査報告書の内容につき報告があった。
議長より参加者に意見を諮ったところ意見はなかった。

報告 2 号 令和 2 年度事業計画・予算について
界外会長より令和 2 年度事業計画書の内容につき報告があった。
石河業務理事より令和 2 年度予算書の内容につき報告があった。
議長より参加者に意見を諮ったところ意見はなかった。
以上をもって報告事項の終了を宣言し、次に決議事項の審議に入った。

【決議事項】
第 1 号議案 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について
石河業務理事より貸借対照表及び正味財産増減計算書の内容につき詳細な説明があった。
議長より、参加者に意見を諮ったところ意見はなかった。
続いて議長は、これを議場に諮ったところ、異議なく可決された。

第 2 号議案 役員の選挙について
議長は、選挙管理委員会に選挙結果について説明を求めた。
澤山選挙管理委員長から一般社団法人三重県診療放射線技師会選挙管理委員会報告書の内容につき説明があり無投票となった。
議長より、参加者に質疑を諮ったところ意見はなかった。
続いて議長は、これを議場に諮ったところ、異議なく可決された。

議長は、定款第 20 条 2 項により会長・副会長及び業務理事の選出は理事会の決議である旨の説明を行い、本会会員以外の監事についての必要性等について理事会で検討のうえで報告を行うよう求め、13 時 35 分議事進行の中断を宣言した。
議長は、13 時 42 分に総会の再開を宣言した。
議長は、執行部に対し理事会での結果の報告を求め、界外会長より、会長 界外 忠之、副会長 武藤 裕衣、山田 剛、業務理事 浅沼 源示、丹羽 正厳、森田 英稔、磯部 好孝が選出された旨の報告があった。
続いて、定款第 12 条 2 項の監事の選任についての説明を行い、定款の規程にない本会会員以外の監事は理事会において必要であると認め、引き続き山中会計士さんを選出したい旨の報告があり、選出案の上程が行われた。
議長は、山中会計士さんの監事選任について、会場に意見を求めたところ意見はなかった。
続いて議長は、これを議場に諮ったところ、異議なく可決された。
以上をもって決議事項の終了を宣言し、その他事項に入った。

【その他事項】
その他の事項はなかった。

議長は、予定の議案はすべて決議され滞りなく審議を終えたことを宣言し、総会役員を解任した。

15　議長降壇

16　新役員の挨拶

新任理事、退任理事、界外会長より挨拶があった。

17　閉会の辞

武藤副会長が、第 70 回一般社団法人三重県診療放射線技師会定期総会の閉会を宣言した。

以上をもって本日の議案全部の審議を終了し、14 時 00 分閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 2 年 5 月 24 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

議　長　　界外 忠之

令和2年度　第2回理事会議事録

1 開催日時　　令和 2 年 6 月 23 日(木)19:00～20:30

2 開催場所　　web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、森田 英稔、丹羽 正厳、
磯部 好孝、小林 篤、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、姫子松 博洋
後藤 末成、三好 佳仁、福田 剛史、四竈 明日香
【監事】中西 左登志、牧 浩昭
【参与】北岡 ひとみ

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、19:00 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 14 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。（難波、後藤、途中参加により最終参加理事 16 名）

5 議事録作成　磯部 好孝

6 議事

【会長報告事項】

(1) 県技師会メール配信サービス vol. 34～54 を配信

(2) 県内、診療放射線技師の新型コロナウイルス感染者について

・会長が情報収集し、会員に向けて冷静な対応を呼びかけるメッセージを配信した。

(3)非会員からの「新型コロナウイルス特別危険手当」の問い合わせについて

・他県に遅れをとることなく速やかに要望する方針であることを連絡した。

(4)令和元年度 JART 功労表彰は石河正人氏が受賞

(5)第 70 回三重県診療放射線技師会総会開催について

・新理事、監事（外部監事を含む）が選任され、第 1 回理事会にて、新執行部が発表された。

(6)第 81 回 JART 総会開催について

・令和 2 年度、3 年度役員が選任され総会終了直後の理事会にて、上田理事が新会長に就任した。

(7)第 36 回 JART 学術大会 10 月開催中止

(8)鈴鹿医療科学大学評議員会について

・令和 2 年度第 1 回評議員会はコロナ感染の影響を鑑み、書面評決となった。

【業務理事会報告事項】

(1)令和 2 年度、三重県診療放射線技師会の事業方針について

・新型コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の事業方針が以下の通り承認された。この方針は感染状況により適時見直す事とした。

・10 月末まですべての本会事業を中止とする。会誌発刊、事務所の移転事業は除く。

・業務理事会、理事会は web 会議とする。

・JART 委託事業の依頼の開催時期は 11 月以降で検討する。基礎講習会は中止。

(2)当番県である第 62 回東海四県学術大会の開催について

・中止とし、東海四県会長会議に申し入れることを確認した。

(3)令和 2・3 年度、被ばく相談担当者の選定について

・県立総合医療センター、片山氏に依頼することを確認した。

上記について、全員賛成にて承認された。

【決議事項】

(1)令和 2・3 年度、参与の選任について（資料 1）

・界外会長より石河真人氏、伊藤守弘氏、北岡ひとみ氏、永澤直樹氏 4 名の推薦があり、異議なく選任案は可決された。

・メーリングリストについては、これまで理事メーリングリスト、業務理事メーリングリストであったが、参与が追加されたことを踏まえ、参与を追加した役員メーリングリストを作成することとなった。作成担当は浅沼業務理事。

(2)令和 2 年度、公衆衛生事業功労者表彰候補者の推薦について

・表彰審査委員会より鈴鹿回生病院、落合技師長の推薦があり全会一致にて承認された。

(3)令和 2 年度、新入会員、転入会員の承認について

・新入会 6 名、転入者 1 名について全会一致にて承認された。

【その他】

(1)第 13 回 CCRT の開催について

・今年度は中止、次年度へ延期。

(2)三重県診療放射線技師会定期総会、第 1 回理事会への新理事の全員出席について

・会長の交代有無に関わらず、新理事は登記上、全員出席する必要があることを確認した。

(3)災害支援認定診療放射線技師の認定者について

・JART より三重北医療センターいなべ総合病院、山崎技師長が認定された。

(4)JART より令和 2 年度、診療報酬改定に対する影響調査の協力依頼

・会長より JART に回答後、三重県診療放射線技師会事務局まで施設名、氏名の報告依頼があった。

(5)令和 3 年、春の叙勲候補者の推薦について

・表彰委員会では、理事会決議を尊重し、今回も引き続き伴野氏を推薦する。

(6)web 会議の開始時間について

・19 時開始のままとする。

(7)表彰規程の変更について

・過去に作成した規程では現状にそぐわないため改訂することとする。変更案ができ次第、理事会に上程する。

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長･業務理事･担当理事報告事項】

(1)広報総括：武藤副会長

・事業計画のレントゲン週間イベントについて中止を視野に入れて検討したいと提案された。
検討の結果、継続検討となった。

(2)広報担当：浅沼業務理事（資料 2）

・メーリングリストがどれだけの人が確認しているのかを把握する為に、メール配信サービスで情報

伝達に関するアンケートをすることを提案された。意見を募ったが意義はなかった。

(3)事務所移転に関して

・移転事業は急がずに進めて行く。長く借りられるところで今後も検討。

(4)今年度の活動について

・現状では会場型講習会を開催できない。7 月 4 日にガイドラインが提案されるため web 開催も視野に入れ、技師会の事業が進められる時がきたら進めることを確認した。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、20:30 に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 2 年 7 月 1 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和2年度　第3回理事会議事録

1 開催日時　　令和 2 年 7 月 29 日(水)19:00～21:00

2 開催場所　　web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、森田 英稔、丹羽 正厳、
磯部 好孝、小林 篤、山本 房嗣、刀根 淳也、白藤 裕敏、姫子松 博洋
後藤 末成、三好 佳仁、福田 剛史、四竈 明日香
【監事】中西 左登志、牧 浩昭

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、19:00 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 13 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。(山田、小林、四竈、途中参加により最終参加理事 16 名)

5 議事録作成　磯部 好孝

6 議事

【会長報告事項】

(1)県技師会メール配信サービス vol. 55～60 を配信

(2)令和 3 年度春の叙勲候補者の推薦について

・伴野氏の推薦は見送りとなった。

(3)令和 2 年度公衆衛生事業功労者会長表彰候補者の推薦について

・鈴鹿回生病院　落合技師長の推薦書類を県庁担当者に提出した。

(4)会長専用携帯電話を購入

(5)JART 理事会報告

・第 36 回日本診療放射線技師会学術大会は web 形式にて 1 月開催を目途に準備中。

・第 37 回日本診療放射線技師会学術大会は 2021 年 11 月 12 日から東京ビッグサイトにて開催予定。

・日本診療放射線技師会、上田新会長は、諸規定や委員会、組織体制などを見直す。

・JART 事務所移転案の再考。

・JART 事務所内の被ばく相談専用電話の廃止と各都道府県に委嘱していた被ばく相談員を終了。

・フレッシャーズセミナーは web 形式での開催を検討。

(6)令和 2 年度診療報酬アンケートの協力依頼と放射線機器故障報告への協力依頼

【決議事項】

(1)県技師会事務所移転について（資料 1）

・新事務所移転は全会一致にて承認された。

(2)第 62 回東海四県学術大会 web 開催について(資料 2)

・決議せずに継続審議。

(3)第 5 回三重県診療放射線技師会学術大会開催について

・今年度は中止。全会一致にて承認された。

(4)令和 2 年度、新入会員、転入会員の承認について(資料 3)

・新入会 1 名について全会一致にて承認された。

【その他】

(1)フレッシャーズセミナー、県技師会事業について

・web を使って事業を進めて行く方針。

(2) 70 周年記念式典について

・2021 年 11 月 7 日（日） 会場はホテルグリンパーク津で開催予定。

(3)新理事の緊急連絡網の作成を浅沼業務理事へ依頼

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長･業務理事･担当理事報告事項】

(1)広報総括：武藤副会長

・事業計画のレントゲン週間イベントについて今年度は中止。

(2)広報担当：浅沼業務理事（資料 4）

・情報伝達に関するアンケートの締め切りを 7 月末までとし集計する。

(3)医療安全・危機管理担当理事：姫子松理事

・メール配信サービス vol.59 で豪雨による被害状況の確認協力を配信した。
危機管理担当のメールアドレスを作成した。
今回の豪雨で地区理事及び会員からも被害の報告は無かった。
メール配信サービスを登録している会員しか確認の連絡がとれないので今後は検討が必要。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21:00 に閉会した。

以上のの通り原本と相違ないことを証明する。

令和 2 年 8 月 3 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和2年度　第4回理事会(メール)議事録

1 開催日時　　令和 2 年 8 月 21 日(日)　9 時発議～令和 2 年 8 月 24 日(月)16 時 43 分 審議終了
2 配信者　　三重県診療放射線技師会 会長 界外 忠之
3 回答者氏　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、森田 英稔、丹羽 正厳
磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、小林 篤、山本 房嗣
姫子松 博洋、後藤 末成、三好 佳仁、太田 茂治、四竈 明日香、福田 剛史
4 議事録作成　磯部 好孝

【決議事項】
(1) JART 永年勤続表彰　勤続 30 年表彰候補者 11 名を推薦することについて（資料 1）
(2) JART 永年勤続表彰　勤続 50 年表彰候補者として
葛原三千克氏を推薦。
(3) JART 地域功労表彰候補者として
伊藤守弘氏を推薦。

【採決期間】
令和 2 年 8 月 21 日 17 時より令和 2 年 8 月 24 日 正午発信まで
なお、この間に投票が無かった者については異議がないものとみなし、賛成とする。

【審議結果】
当該提案につき議決権を有する理事全員から電磁的記録により異議なく、全会一致にて同意を得たので、定款 32 条に基づき、当該提案を可決とする理事会の決議があったものとみなす。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 2 年 8 月 26 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和2年度　第5回理事会議事録

1 開催日時　　令和 2 年 11 月 11 日(水)19:00～20:00

2 開催場所　　web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、森田 英稔、丹羽 正厳、
磯部 好孝、小林 篤、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、姫子松 博洋、
三好 佳仁、福田 剛史、四竈 明日香

【監事】中西 左登志、牧 浩昭

【参与】北岡 ひとみ

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、19:00 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 10 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。（山田、小林、丹羽、福田、難波、途中参加により最終参加理事 15 名）

5 議事録作成　磯部 好孝

6 議事

【会長報告事項（資料 1）

⑴県技師会メール配信サービス vol. 61～71 号を配信した。

⑵会長・副会長会議を web 開催した。

・11 月以降の技師会事業などを協議した。

⑶第 62 回東海四県学術大会の延期を各県に伝えた。

・今年度は開催を断念し来年度に延期する。各県会長に連絡し承認を得た。

⑷三重県診療放射線技師会事務所を移転した。

・令和 2 年 10 月 14 日に新事務所を開所した。

⑸自民党総裁選における岸田文雄衆議院議員への心願成就祈念について

・畦元議員、日本診療放射線技師連盟からの依頼を受け伊勢神宮内宮にて
界外会長と浅沼業務理事で心願成就祈念を行った。

⑹田村厚生労働大臣への就任お祝いについて

・松阪の田村事務所へ胡蝶蘭を届けた。費用は日本診療放射線技師連盟。

【決議事項】

⑴令和 2 年度、新入会員の承認について（資料 2）

・新入会 2 名について全会一致にて承認された。

⑵第 62 回東海四県学術大会延期の決議

・全会一致にて承認された。

【業務理事会検討済事項】

⑴70 周年記念式典の準備について

・日時は令和 3 年 11 月 7 日（日）ホテルグリンパーク津で開催、70 周年記念式典準備委員会で企画など準備を進める。

⑵ 令和 2 年度、三重県診療放射線技師会の今後の事業方針について

・三重県放射線技師学術大会、レントゲン週間事業、女性部会活動、基礎講習会は中止が決定している。フレッシャーズセミナー、技術フォーラム、令和 3 年新春学術講演会は web で開催する。新規事業の技師長会議も今年度は開催しない。統一講習会の地域開催は次年度に持ち越す。

【その他】

⑴第 36 回日本診療放射線技師学術大会の開催について

・令和 3 年 1 月 8 日～31 日 web 開催。

⑵JART 理事会報告

・JART 事務所移転、東京都港区　三田国際ビルへ移転。

・JART 会長・副会長が 47 都道府県の会長や会員と web で意見交換を行う予定。

・福井県の江端理事が JART 事務局の専従理事に就任。

⑶界外会長が日本診療放射線技師連盟中日本地区統括理事への就任

⑷静岡医療科学専門大学校の実習受け入れについて協力願い

⑸ 第 46 回三重総合画像研究会の報告

・11 月 6 日に開催された。web 開催であったが参加者 250 名と過去最高の参加者であった。

⑹JART から厚労省タスクシフト調査への協力願い

・先日メールで役員各位に依頼。

上記の如く、界外会長より報告があった。

【副会長・業務理事報告事項】

⑴ 学術担当：山田副会長（資料 3）

・技術フォーラムの開催について、日時令和 2 年 12 月 12 日(土) web 開催、内容は大規模災害と新型コロナウイルス感染症の知識と対応についての 2 演題予定。

・令和 3 年新春学術講演会の開催について、web 開催を予定。

⑵広報総括：武藤副会長

・令和 2 年 11 月 1 日フレッシャーズセミナーの開催をした。

⑶広報担当：浅沼業務理事

・会誌の発刊をした。

⑷学術担当：難波理事

・骨・関節を語る会、今年度は中止の予定。

⑸医療安全・危機管理担当理事：姫子松理事

・年間テーマの医療安全・危機管理対策事業は Zoom での企画を検討。技術フォーラムで災害について企画、新春学術講演会は学術担当の山田副会長と相談し企画を検討。

⑹被ばく低減施設認定促進理事：三好理事

・被ばく低減施設の訪問調査ができないのでアンケート調査による現状把握。

・研修会等は Zoom で検討。

⑺日本診療放射線技師会教育委員：北岡参与

・来年度基礎技術講習会については今年度本県で中止になった「血管撮影 IVR」を開催希望する予定。

・来年度もフレッシャーズセミナーは開催する。時期を早め web 開催も検討。
・統一講習会は令和元年度延期分に関して来年度開催を予定。方法は今後検討していく。
以上を令和 2 年 11 月 17 日に第 1 回中日本地域教育委員会で報告。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、20 時に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 2 年 12 月 1 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

令和2年度　第6回理事会議事録

1 開催日時　　令和 3 年 1 月 15 日(金)19:00～20:40

2 開催場所　　web Zoom

3 出席者氏名　【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、浅沼 源示、森田 英稔、丹羽 正厳
磯部 好孝、難波 一能、刀根 淳也、白藤 裕敏、姫子松 博洋
三好 佳仁、福田 剛史、四竈 明日香、後藤 末成
【監事】中西 左登志、牧 浩昭
【参与】北岡 ひとみ

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となり、19:00 開会を宣言した。

理事会を構成する理事 18 名のうち 14 名及び監事 2 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。(難波、途中参加により最終参加理事 15 名)

5 議事録作成　磯部 好孝

6 議事

【会長報告事項】(資料 1)

(1)県技師会メール配信サービス vol. 68～75 号を配信した。

(2)令和 2 年度フレッシャーズセミナーを開催した。

・令和 2 年 11 月 1 日（日）web 開催、受講者 41 名。

(3)診療放射線技術フォーラムを開催した。

・令和 2 年 12 月 12 日（土）web 開催、受講者 104 名。

(4)令和 2 年度中日本地域会長会議・JART 教育委員会に出席した。

・令和 2 年 11 月 17 日（火）web 開催。

(5)県技師会事務所の移転に伴い、法人登記を修正した。

(6)令和 3 年秋の叙勲について

・推薦調書が期日まで間に合わず、伴野先生の叙勲推薦は見送りとなった。

(7) 令和 2 年度日本公衆衛生協会公衆衛生事業功労表彰について

・鈴鹿回生病院の落合技師長が被表彰者に決定。

【業務理事会検討済事項】

【検討事項】

(1)2021、2022 年度三重県技師会代議員および補欠代議員の指名

・三重県の会員数の増加に伴い代議員定数が 3 名から 4 名に増えた。本来、立候補であるが、立候補者がいない場合に備えて慣例に従い事前に決めておく。代議員は界外会長・山田副会長、武藤副会長、森田業務理事の 4 名。補欠代議員は浅沼業務理事。

(2)代議員立候補者多数の場合の県内選挙方法の決定

・従来通り、県事務所への郵送による投票で検討。投票事務責任者は磯部業務理事に依頼。

(3)web 会議ソフトの購入について

・次年度の事業計画で web 会議ソフトの購入を検討。資料を作成し決議事項に上程する。
資料作成は武藤副会長と浅沼業務理事に依頼済。

(4)県技師会年間事業名の変更と開催時期について（資料 2）

・県技師会年間固定事業の総会、技術フォーラム、フレッシャーズ、三放技学会、骨関節、新春学術、の名称について開催時期を表す名称に変更し年間行事が会員にわかりやすくした。定例事業の名称は決議を行った結果、11 名がセミナーで過半数を占めた。

【決議事項】

(1)令和 2 年度、新入会員の承認について（資料 3）

・新入会 1 名について全会一致にて承認された。

(2)web 会議 Zoom ソフト購入の是非について（資料 4）

・1 ライセンスを購入について決議を行った結果、賛成 14 名、保留 1 名の賛成多数にて承認された。

【その他】

・中日本地域会長会議報告

(1)石川県森下会長より

・第 13 回 CCRT は 2021 年 11 月 20、21 日、石川県、金沢歌劇座にて web と現地のハイブリット形式で開催予定。

(2)愛知県中村会長より

・第 14 回 CCRT は 2022 年 11 月 5、6 日、ウインク愛知予約済、内容、開催形式は未定。

(3)JART 中村業務執行理事より

・新たな業務拡大が実施される予定。

・第 36 回学術大会への参加の要請。

・JARTIS 新システムで迷惑をかけている。

・JART 事務所の引っ越しは 2 月 22 日。

(4)Brilliant7 中日本業務改善推進委員会 報告 山本地域理事より

・妊娠中の働き方事例集を作成した。

(5)各県報告

・各県とも下半期から web を使って活動を開始している。東海四県学術大会は 2021 年度へ延期、北陸三県学術大会は 2021 年 3 月 7 日開催。主催の富山県は会場にて、石川と福井は web 参加。

(6)JART 理事会報告

・県技師会役員には JART 理事会資料データを配信済。

(7) 新春学術講演会の開催について

・令和 3 年 2 月 7 日（日）午後 web 開催、共催富士フイルム富山化学。

講演 1 は東京大学放射線科自衛隊中央病院、戌亥章平先生。講演 2 は DMAT 事務局 次長、大阪医療センター、若井聡智先生の 2 講演を予定。

(8)JART 理事会報告

・県技師会役員には JART 理事会資料データを配信済。

(9)県技師会ホームページへのお問い合わせについて

・業務理事会で回答内容を協議し回答した。

(10)令和 3 年度県技師会事業計画について

・新企画の提案がある場合、界外会長まで連絡。

(11)新事務所の机、椅子、備品、ネット環境についても揃えていく予定。

上記の如く、界外会長より報告があった。

日本診療放射線技師会教育委員：北岡参与

・JART 教育委員会報告

(1)令和 3 年度事業計画

・三重県の基礎講習は血管造影 IVR。

(2)統一講習会について

・令和元年度の延期分に関しては開催する予定。

・次回行われる予定の法律改正、6 月法案で業務拡大の CT、MRI、RI の静脈確保、RI 抜針、IVR インジェクタ操作などに伴う講習会が必要になる予定。

(3)フレッシャーズセミナーについて

・来年度も web 等を駆使して開催してもらいたい。内容には医療安全、感染対策、マナー講習、入会案内、気管支解剖、を含めるよう要請あり。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、20 時 40 分に閉会した。

以上の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 3 年 2 月 5 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会

会長　　界外 忠之

□　編集後記

今回は、おそらく会誌発行初の巻頭言、議事録、編集後期だけの記事になってしまいました。

最近はzoomをはじめとするweb会議ツールにも慣れ、移動時間などに縛られずに会議に参加できてすごく便利になりました。

コロナウイルスが流行したおかげ?で、web会議関係の技術は今までの何倍もの速度で普及しております。便利すぎて、今までの会議形式に戻れないのではないでしょうか？

三重県診療放射線技師会　292号　Vol.71　No.2

発行日　201年2月26日
発行所　〒514-0032 三重県津市中央2-4　三重ビル 502号
一般社団法人　三重県診療放射線技師会
TEL/FAX　059-225-1491
ホームページ: https://mieart.jp
facebookページ : https://facebook.com/mieprefart
E-mail : contact@mieart.jp
発行人　界外　忠之
制　作　三重県診療放射線技師会編集班